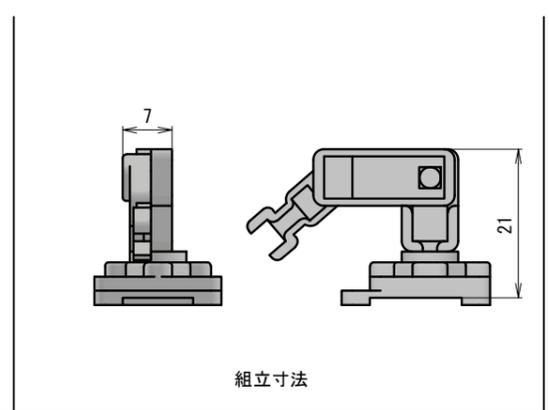
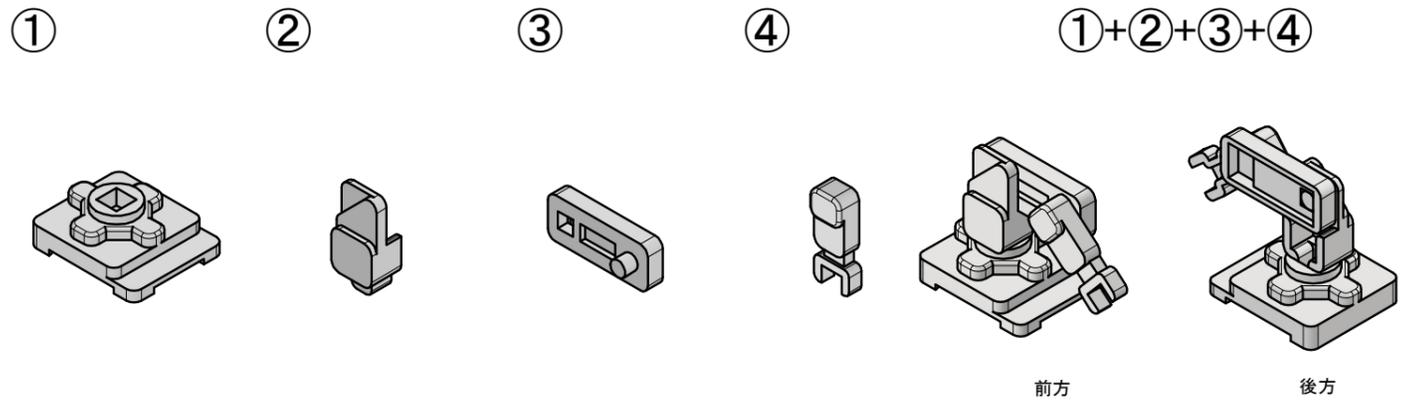
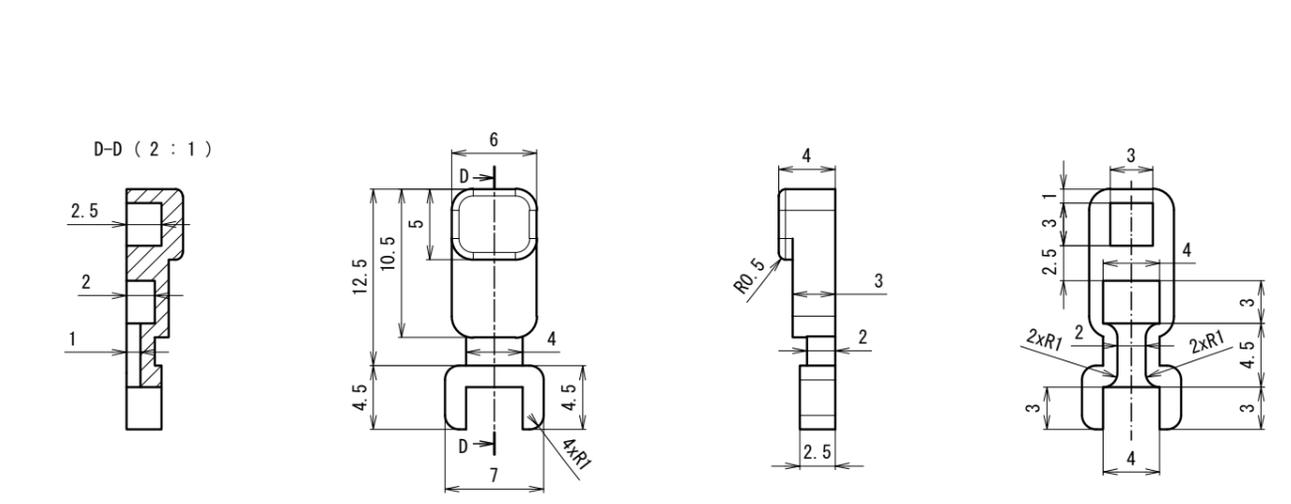
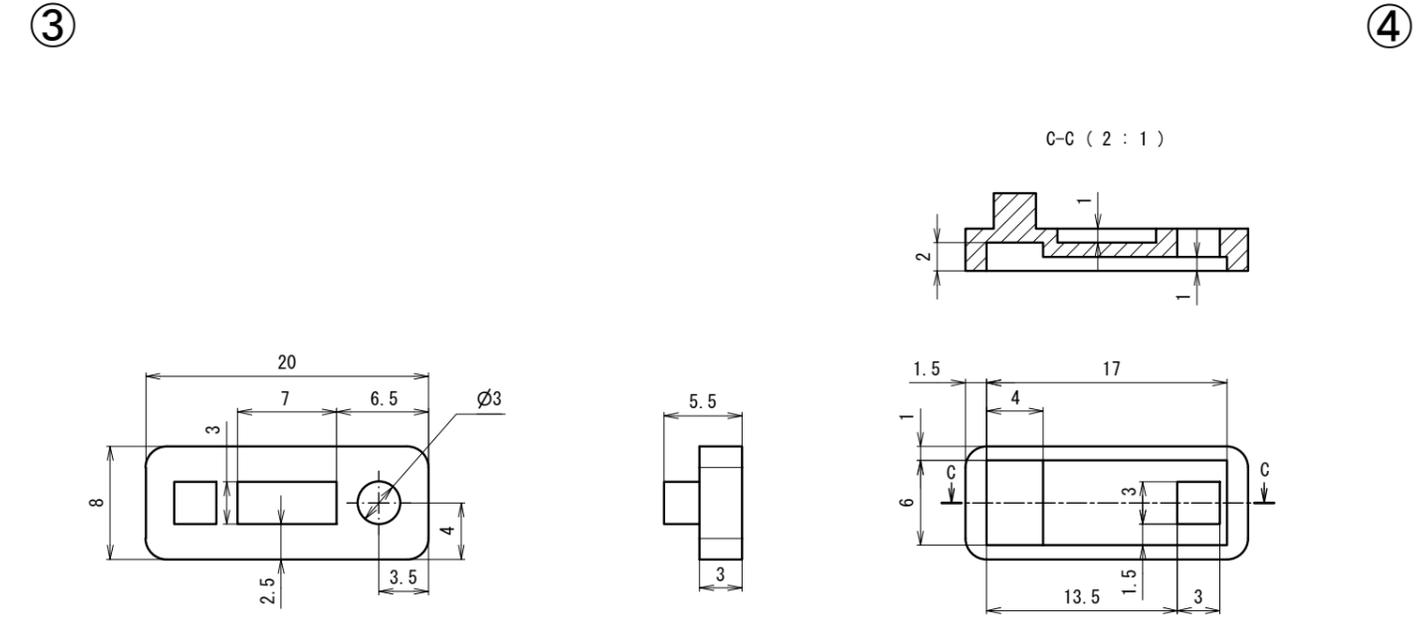
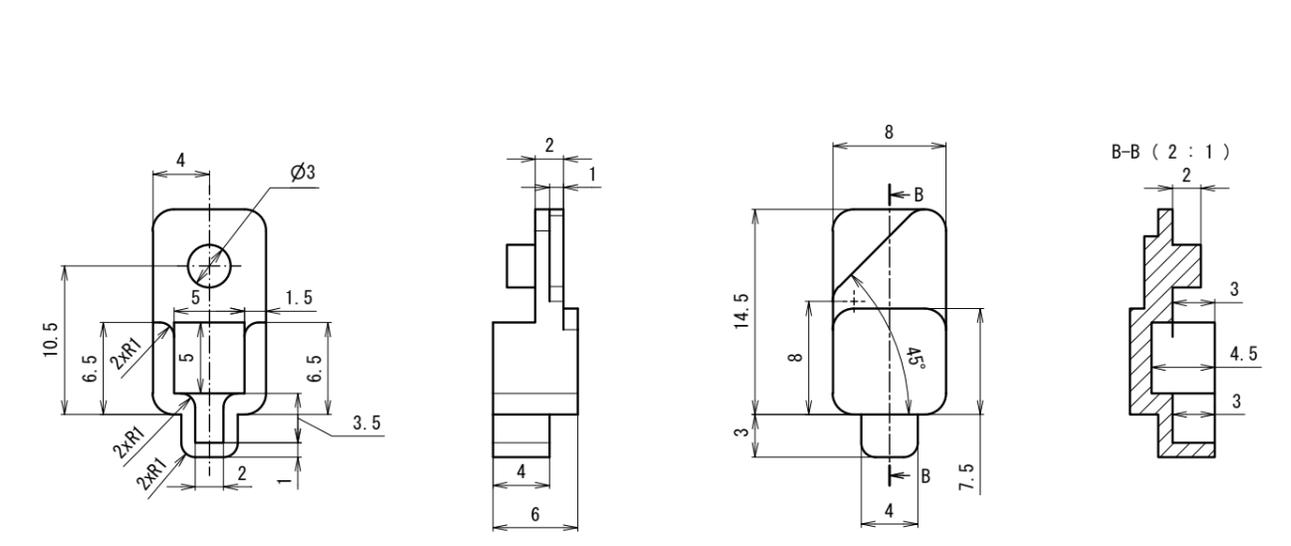
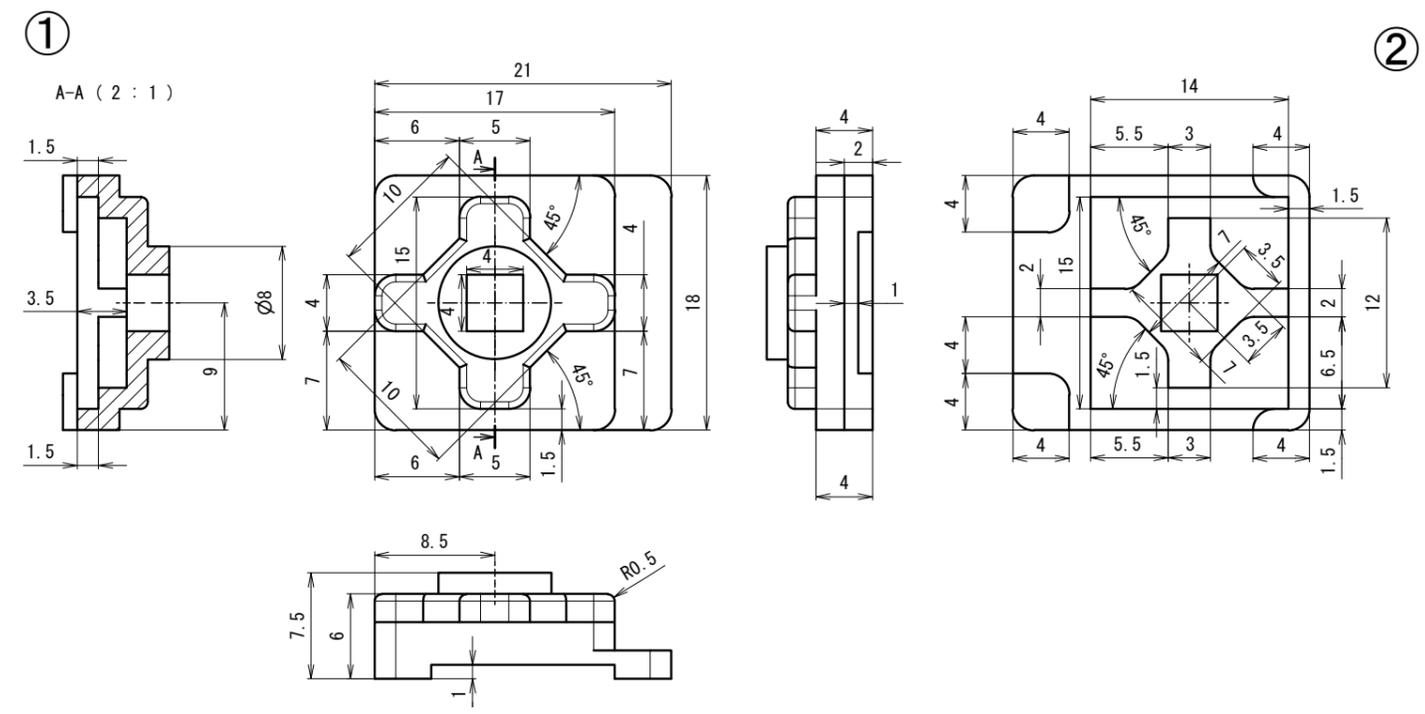


一次提案用



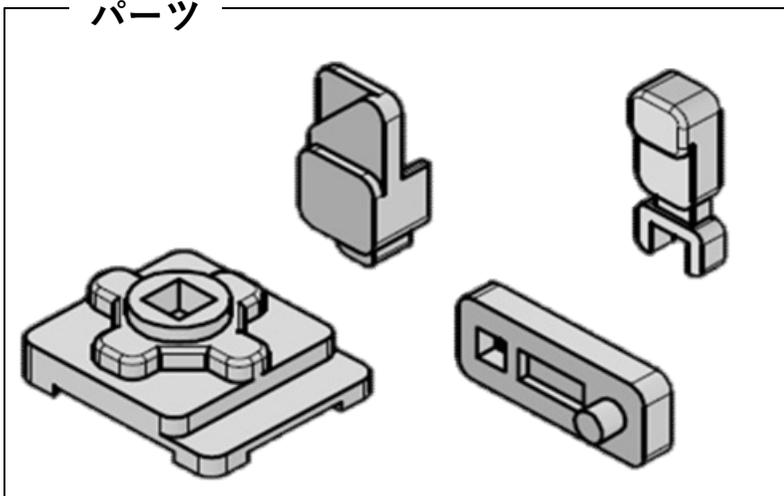
- ・製品の表面にカッターマークや擦り傷がないこと。
- ・製品の寸法公差は特に指示がない場合±0.03mmとする。
- ・指示なきRはR1.5mmとする。



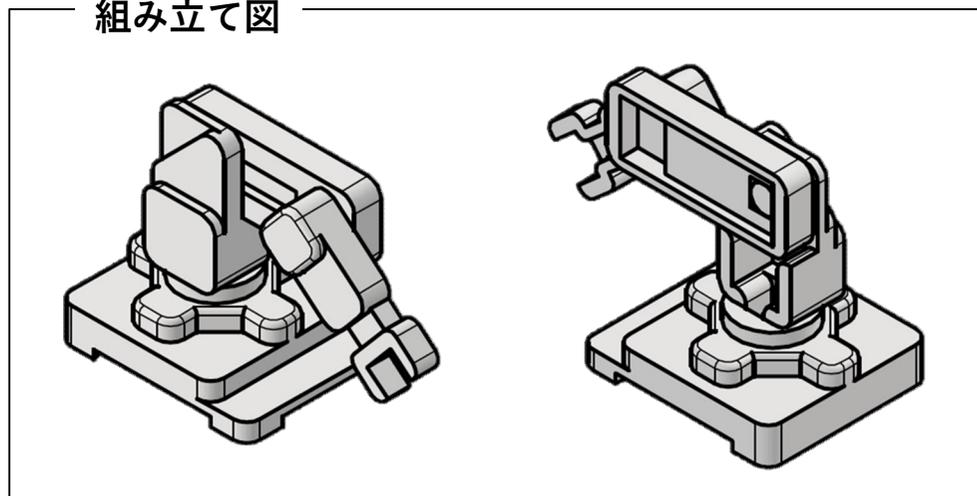
課題の名称	第62回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題		
製品の名称	産業用ロボット D		
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%
			2:1 A3

課題の形状

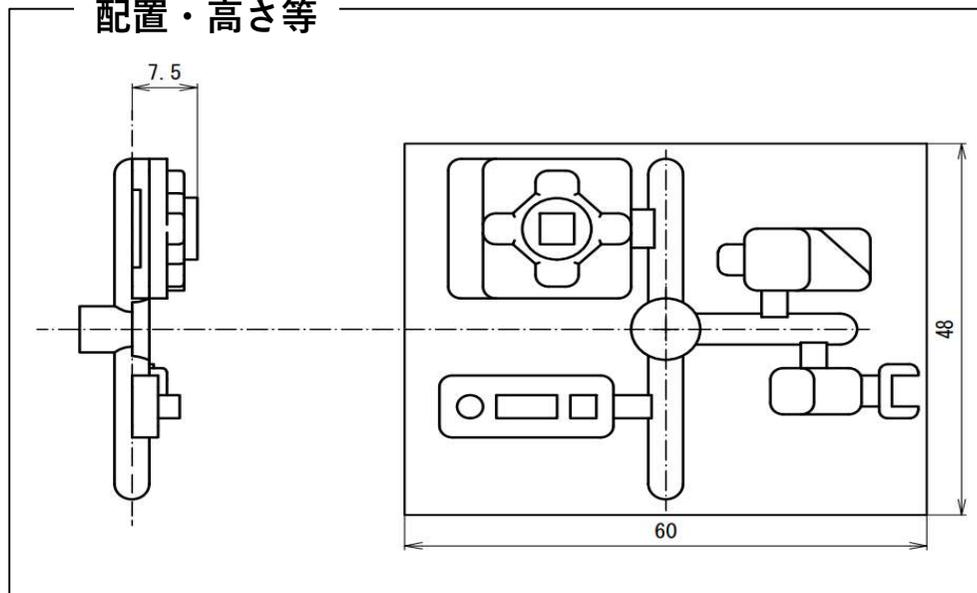
パーツ



組み立て図



配置・高さ等



課題の特徴(形状や組立機構の魅力、加工難易度)

形状や組立機構の魅力など

- 魅力について
 - ・産業用ロボットなので、稼働できる事を念頭に設計を行いました。
- 形状について
 - ・4パーツで大きさが異なるが配置と保圧をしっかり掛ける事ができればひけがでないように肉厚の調整を行った。
 - ・加工ミスが少しでもあれば組み付かない。
 - ・固定ピンではめ合いの形状を作ると自分で調整が行えず、組付けの際に割れが発生してしまうので製品のはめ合いは全て自分で調整できるようにした。
- 測定について
 - ・底R形状を少なくすることで測定をしやすくしてあります。
 - ・画像測定器で測定する際に線を長く引く事できるので測定がやりやすい。
- 組立寸法について
 - ・稼働しますが、組付け寸法を測定するには影響がでないように形状の工夫を行っております。
- 寸法変更箇所の設定について
 - ・設計でミスしやすい箇所に設定する事で、難易度を上げる予定。

難易度など

- 設計競技について
 - ・寸法数は61回大会課題とほぼ同じとなっており、難易度はほぼ変わらずとなっております。
 - ・モールドを作成する際には、調整が必要な部分が多いのでしっかり確認しながら作業を進める事が求められます。
- 機械競技について
 - ・61回大会課題と比べても形状のボリュームはほぼ同等なので加工のボリュームも変わらずです。
 - ・形状の段差を多く設定することで加工ミスが発生しやすいのでここでもしっかり確認しながら作業を進める事が求められます。
- 磨き競技について
 - ・円筒形状が多く、側面が磨きにくいので磨き技術が求められます。
- 成形競技について
 - ・パーツ①だけは他のパーツと比べて体積が大きいので配置と条件を工夫しないと保圧が掛からないのでヒケが発生しやすい。
 - ・側面が磨きにくいので離型キズが磨き技術の熟練度によって大きく差が出る部分となっております。

